

三好ジオパーク構想の 基本計画・第1期実行計画

1. ビジョン

ジオパークは地質地形遺産（ジオサイト）やそれらとかがわりのある歴史文化・生態系を保全しながら、教育・防災・ツーリズムなどに活用し、地域の持続可能な発展を目指した活動を行うプログラムです。この趣旨に基づいて、私たち三好ジオパーク構想のビジョンを次のとおり定め、特徴ある大地とともに持続可能な三好の地域社会を築き、さらにはこの地球の上で暮らしていくための活動を展開していきます。

三好の大地に根ざした暮らしを誇りに想い、生きぬき、未来へつなぐ

2. 三好ジオパーク構想の活動方針

三好ジオパーク構想のビジョンを私たちみんなで達成するために、7本の柱に基づいたジオパーク活動を展開します。7本柱の活動を織り混ぜながら推進することで、より地域社会の持続可能な発展を促せるものと考えています。

1. しる、まなぶ（教育活動）

三好の大地ってすごい！～楽しみながらわかる三好ジオ～

2. うる、もうける（ツーリズム活動）

三好の大地になんども来たい！～三好ジオツーリズムとリピーターづくり～

3. まもる、つなぐ（保全活動）

三好の大地の良さを守ろう！～未来へ繋いでいくための保全活動～

4. そなえ、いきぬく（防災活動）

三好の大地で生き抜く！～ジオパークを通じた防災文化づくり～

5. つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク）

三好の大地を伝えつつ、様々な大地の特徴も知ろう！

6. さぐる、しらべる（調査研究活動）

三好の大地の新たな価値を探ろう！～ジオの宝を発掘し、付加価値を高める～

7. おしすすめる（推進体制づくり）

三好の大地の上でジオパーク活動をしよう！～地域愛醸成をつなぐ中核づくり～

3. 第1期実行計画

三好ジオパーク構想推進への取り組み ～今、みんなで共に考え活動すること～

三好ジオパーク構想のビジョン達成に向けて掲げた7つの柱をみんな
で取り組み確実に推進するために、短・中期的な活動を以下のとおり行
います。

1. しる、まなぶ（教育活動）

三好の大地ってすごい！～楽しみながらわかる三好ジオ～

◆私たち一人ひとりが三好ジオを語るんでよ！

～継続性のある教育活動の展開～

①継続的なジオパーク学習を行うために、学校現場への出前授業
などを共に実施しましょう。

- 小・中・高等学校向けのジオパーク出前授業を推進するために、
ジオパーク学習プログラムを作成し、学校側が受講できるように
三好ジオパーク構想のHPに掲載します。

- 三好ジオパーク構想を楽しく理解するための副読本など、各種
教材を作成します。

- 小中学校を対象とした、ジオパーク学習の拡充を図ります。

②学校以外で子供達が三好ジオを理解し、楽しめる場所づくりを
行いましょう。

- 長期休暇を活用した子供向けのジオパークイベントを定期的に
一緒に開催しましょう。

- 「地震火山子どもサマースクール」や各種科学的なイベント・ジ
オツアーを通じて、各分野の最先端の研究結果に触れてもらい、
子供達が地震や地域の将来を考えられる教育活動を推進します。

③大人たちも共に三好ジオを楽しみながら理解し、三好ジオを語る人づくりを行いましょ。

- 生涯学習講座・各種講演会・研修会・ジオツアーを通じ、三好ジオパーク構想について理解し、地域愛の醸成を促せられる場を設けます。
- 教職員がジオパーク関連の授業を計画実行できる仕組みを作ります。
- 三好ジオパーク活動に私たちみんなが自主的に参加できるようにする仕組みづくりの一つとして、「ジオサポーター」制度を設け活用します。

2. うる、もうける（ツーリズム活動）

三好の大地になんども来たい！～三好ジオツーリズムとリピーターづくり～

◆三好ジオで質のええガイドツアーや商品づくりをやるんですよ！

～ジオツアーの商品化、ジオと関連する地場産品の付加価値づくり～

①既存ガイドとジオガイドの連携及びガイド養成共にを行います。

- 三好ジオパーク構想内で活躍するガイド団体への定期的な研修会を開催し、ガイドの質の向上を促します。
- 地域資源の価値を初歩から理解する講座「プチガイド養成講座」と、ジオパーク構想を周遊させる質の高いガイドづくりのための講座「ジオパークガイド養成講座」を連携させて開講し、継続的に実施していきます。
- インバウンドに特化したガイド養成を共に行います。

②三好全体を周遊できる新しいコース・ツアーをみんなで作り、活用します。

- アウトドアスポーツと絡めたジオツーリズムを共に作ります。
- 各サイトを周遊するための整備路づくりを行います。

- 三好ジオをベースとした様々なジオ周遊コースを一緒に作ります。
- ③ジオを通して地場産品の付加価値をあげる仕組みについて共に考え、構築します。
 - ジオパークのロゴを作成し、ロゴを活用した商品づくり、販売促進を行います。
 - ジオストーリーを活かした地場産品の付加価値づくりを共に考え、ジオブランドとして販売促進します。
- ④当地域の関連事業と絡めた活動を行い、付加価値の伸びしろを表に出していきます。
 - 世界農業遺産事業と連携し、ジオパーク目線を踏まえた傾斜地農業の価値を見せることで、価値をより引き出す普及啓発活動を行います。
 - 当地域の多様な文化財の付加価値を高めるため、ジオの視点を投入します。
 - ツアーやアウトドアアクティビティなど、アウトドアツーリズムの促進のベースとしてジオを活用し、付加価値あるアドベンチャーツーリズムを醸成します。

3. まもる、つなぐ（保全活動）

三好の大地の良さを守ろう！～未来へ繋いでいくための保全活動～

◆三好ジオの宝物を守るんでよ！

～サイトの保全方法を決め、周知、清掃活動などを通じた保全活動を展開～

- ①サイトの保全方法をみんなで考え、決定します。
 - 三好で定められた景観条例や文化財保護条例などと照らし合わせながら、サイトの保全方法をみんなで考え、決定します。
 - 各サイトのサンプリング許可申請制度を設定し、無断での破壊行為をなくします。

②価値あるものだと理解するために、サイト情報を周知する取り組みを行います。

- サイトやサイト保全方法をwebや看板やツアーなどの様々な媒体を通して周知します。

③サイトの清掃活動や保全を推進できる仕組みづくりを行います。

- 地域みんなが一丸となってサイトの清掃活動を行います。

- 保全チャリティー事業を行い、サイトの保全資金として役立てます。

4. そなえ、いきぬく（防災活動）

三好の大地で生き抜く！～ジオパークを通じた防災文化づくり～

◆三好ジオの大地の特徴をよように知って、自然災害を乗り越えるんでよ！

～ジオを活用した防災意識・知識を向上できる仕組みづくり～

①ジオを活用し、私たちみんなの防災知識と防災意識を高める活動を図ります。

- ジオサイトを活用した防災訓練や研修会などの防災教育活動を共に行います。

- 地域の防災組織（消防団や防災士会などの各関係団体）と連携した防災活動を展開します。

- 災害対応に携わる関係機関や関係団体の中でのジオパーク防災教育を行い、意識・知識向上を図ります。

②三好の大地の脅威と共生する人々の暮らしを地域外に発信します。

- 三好市外で行われる防災フェアや防災イベントでのジオパーク防災活動の周知を行います。

- 日本ジオパークネットワークの防災イベントに積極的に参加し、三好の災害や防災活動を発信します。

- 三好にある研究機関や調査機関と連携し、防災教育関連事業を実施します。

5. つたえ、つながる（広報活動・ネットワーク） 三好の大地を伝えつつ、様々な大地の特徴も知ろう！

◆三好ジオの活動をようけの人に知ってもらうんでよ！ ～メディアやSNSを通じた積極的な広報活動の展開とジオパークネットワークへの貢献～

①あらゆる媒体を通して三好のジオパーク活動を情報発信していきます。

- 三好ジオパーク構想をみんなで楽しみながら理解するために、WebやSNSの開設・運営を行います。
- 三好ジオパーク構想を周遊するためのツールとして、パンフレット・説明看板の設置を行います。
- マスメディアを活用した三好ジオパーク構想の情報発信を一緒に行います。
- 三好ジオパーク構想の周遊の起点となる、既存施設を活用した情報拠点整備について地域みんなで考え計画を立てていきます。

②日本ジオパークネットワーク活動に積極的にみんなで参加し、貢献します。

- 国内外のジオパークおよびジオパーク関連地域との交流促進を行い、私たちの活動を発信し、ネットワーク活動に貢献します。

6. さぐる、しらべる（調査研究活動） 三好の大地の新たな価値を探ろう！～ジオの宝を発掘し、付加価値を高める～

◆価値あるものをきちんと調べて残すんでよ！ ～ジオの重要記録として保存・活用することを目的とした調査研究活動～

- ジオサイト・エコサイト・カルチュラルサイトのカルテ作りを行います。

- 設定されたサイトの学術的価値を高め、新たなサイトの開発のために、研究者および研究機関への学術調査の支援を行います。
- ジオパークに関係する学術的調査研究ができるための支援として助成金制度を設け、地域資源の発掘と保全をみんなで考え、推進していきます。

7. おしすすめる（推進体制づくり）

三好の大地の上でジオパーク活動しよう！～地域愛醸成をつなぐ中核づくり～

◆みんなで10年先を見据え、考え、活動していくんでよ！ ～推進協議会の発足と継続ある活動～

- ①三好ジオパーク構想の推進協議会を発足・運営し、継続します。
 - ジオパークを通して私たち一人ひとりの地域愛を高めるために、地域住民・行政・関係研究機関・各関係団体からなる三好ジオパーク構想推進協議会の運営を行います。
 - 三好ジオパーク構想推進協議会の運営を潤滑に遂行するために、事務局体制を強化します。また、運営を長期的に発展させていくための事業予算を確立していきます。
 - 三好ジオパーク構想のジオパーク活動が着実に遂行できるように、中・長期を見据えた基本計画を策定し、それを実現するための短期活動を示した実行計画を策定します。また、実行計画はジオパーク活動の発展に応じて改訂していきます。
 - 三好の他の事業とジオパーク事業を推進するためのマーケティング戦略をみんなで模索し、実行します。

4. 三好ジオパーク構想推進体制

三好ジオパーク構想では、三好オリジナルのジオパーク活動を展開するために、推進協議会の体制を次のとおり設けます。推進協議会内には、「ツーリズム」「教育」「保全」「防災」の4つの部会を設け、行政関係部局とジオパーク推進室が各部会の事務局となり、各部会メンバーの活動の計画・推進をサポートします。

	ツーリズム部会	教育部会	保全部会	防災部会
部 会 構 成	<会員> ・阿波池田商工会議所 ・JA 阿波みよし ・三好市ガイド連携協議会 ・JR 大歩危駅活性化協議会 ・山城大歩危妖怪村 ・NPO 法人マチトソラ ・三好市商工会 ・公社 阿波池田青年会議所 ・一社 三好市観光協会 ・アウトドアツーリズム協議会 ・(株) 山城しんこう ・四国旅客鉄道 (株) 徳島企画部 ・剣山隣彰会 ・一社 大歩危・祖谷いってみる会 ・徳島剣山世界農業遺産推進協議会 ・徳島県西部総合県民局 ・一社 徳島新聞社 ・(株) 池田ケーブル ネットワーク <事務局> ・三好市役所 まること三好観光戦略課 ・三好市役所 ジオパーク推進室	<会員> ・三好市教育委員会 ・三好西部森林組合 ・祖谷山研究会 ・三好郷土史研究会 ・三好市小学校校長会 ・三好市中学校校長会 ・徳島県立池田高等学校 ・徳島県西部総合県民局 ・一社 徳島新聞社 ・(株) 池田ケーブル ネットワーク <事務局> ・三好市教育委員会 学校教育課 ・三好市役所 ジオパーク推進室	<会員> ・三好西部森林組合 ・三好東部森林組合 ・祖谷山研究会 ・祖谷雑穀生産組合 ・吉野川上流漁業協同組合 ・河内谷土地改良区 ・(株) 山城もくもく ・国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所 ・林野庁四国森林管理局 徳島森林管理署 ・徳島県西部総合県民局 ・一社 徳島新聞社 ・(株) 池田ケーブル ネットワーク <事務局> ・三好市教育委員会 社会教育課 ・三好市役所 ジオパーク推進室	<会員> ・三好市防災士会 ・(社福) 三好市社会福祉協議会 ・三好河川漁業協同組合 ・徳島県建設業協会三好支部 ・みよし広域連合消防本部 ・三好市消防団 ・国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所 ・国土交通省四国地方整備局 徳島河川国道事務所 ・国土交通省四国地方整備局 吉野川ダム統合管理 事務所 ・独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 ・林野庁四国森林管理局 徳島森林管理署 ・徳島県西部総合県民局 ・一社 徳島新聞社 ・(株) 池田ケーブル ネットワーク <事務局> ・三好市役所 危機管理課 ・三好市役所 ジオパーク推進室
	※2020年7月末時点			

また、各部会と三好ジオパーク構想体制と活動方針7本柱の取り組みとの関係については、次の通りです。

